

萩外荘公園

萩外荘

「萩外荘(てきがいそう)」は、1927(昭和2)年に、大正天皇の侍医頭・入澤達吉の別邸「楓萩荘(ふうてきそう)」として建てられました。設計は、日本最初の建築史家としても活躍した建築家、伊東忠太です。

1937(昭和12)年、入澤よりこの家を譲り受けた政治家・近衛文麿が移り住み、「萩窪会談」をはじめとして、さまざまな政治の舞台となりました。2016(平成28)年、こうした歴史を持つ「萩外荘(近衛文麿旧宅)」が、日本政治史上重要な場所として、国の史跡に指定されました。

杉並区は、地域住民からの声を受け、「萩外荘」を近衛文麿居住当時の姿に復原整備し、2024(令和6)年12月から区立公園「萩外荘公園」として公開しています。



提供：萩窪三庭園

■ 近衛文麿(1891-1945)
東京生まれ。近衛公爵家の出身。首相を三度務める。終戦後戦犯容疑を受け自決。

■ 伊東忠太(1867-1954)
山形生まれ。「建築進化論」を唱え、平安神宮や築地本願寺などの建築物を設計。

■ 入澤達吉(1865-1938)
新潟生まれ。日本の内科学確立に貢献し、大正天皇の侍医頭として献身的に尽力。

萩外荘公園 東京都杉並区萩窪2-43-36

- 開園時間 9:00～17:00(最終入園時間16:30)
- 入園料 一般300円、小・中学生150円
(就学前の子どもは無料)、その他団体割引等あり
- 休園日 毎週水曜日、年末年始(12月29日～1月1日)